

結果の要約

1 職業

香川県の15歳以上就業者数(490,775人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が139,252人(15歳以上就業者数の28.4%)と最も多く、次いで「事務従事者」が93,429人(同19.0%)、「販売従事者」が68,970人(同14.1%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が5,715人(14.0%)増、「保安職業従事者」が626人(8.8%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が2,853人(18.3%)減、「運輸・通信従事者」が1,750人(9.3%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「事務・技術・管理関係職業」が35.1%と最も高く、次いで「生産・運輸関係職業」が31.9%、「販売・サービス関係職業」が25.1%、「農林漁業関係職業」が7.1%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」が1.3ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ1.4ポイント、0.3ポイント、0.1ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業者」
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業者」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は41.3時間で、職業大分類別にみると、「運輸・通信従事者」が49.1時間と最も長く、次いで「管理的職業従事者」が44.7時間、「販売従事者」が44.6時間などとなっている。平成12年と比べると、すべての職業大分類で減少となっている。特に、「サービス職業従事者」が2.1時間減、「販売従事者」が1.7時間減となっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が120,832組(夫婦数257,980組の46.8%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が72,133組(同28.0%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「生産工程・労務作業者」である夫婦が12,815組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の10.6%)と最も多く、次いで夫が「生産工程・労務作業者」、妻が「事務従事者」である夫婦が11,625組(同9.6%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は106,904世帯(住宅に住む一般世帯370,125世帯の28.9%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は263,221世帯(同71.1%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が99,348世帯(同26.8%)、「女性のみ」の世帯が46,792世帯(同12.6%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が20,077世帯(同5.4%)となっている。

図1 香川県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

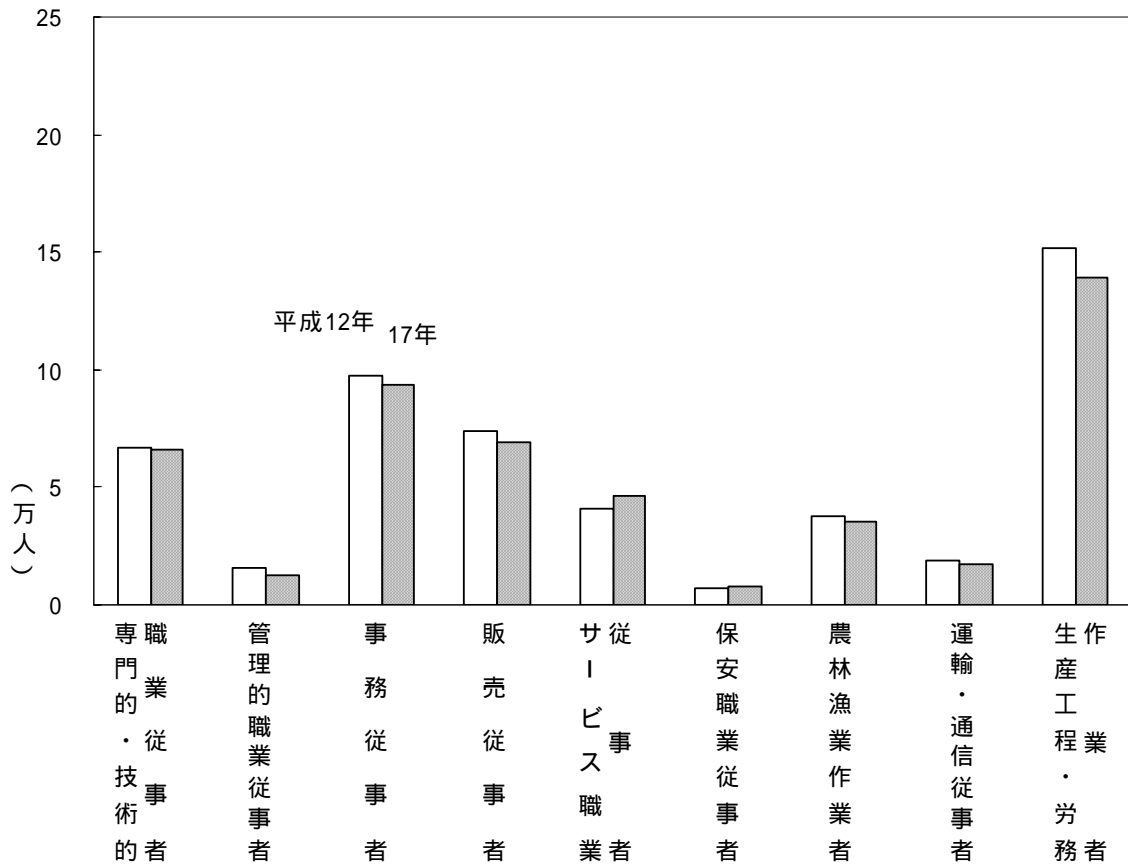


図2 香川県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

